<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども未来課

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
戦略プログラム	妊娠・出産・子育て支援プログラム
施策名	【重点】子育てにやさしい社会づくり

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	合計特殊出生率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1.34	1.35	1.36	1.37
現況値	1.32	実績値	1.23			
目標値	1.37	達成率（%）	91.8			
備考		達成度	3			

指標名	出生数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	12,166	12,191	12,215	12,238
現況値	11,575人	実績値	10,426			
目標値	12,238人	達成率（%）	85.7			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

・ももっこカード利用促進事業
・少子化対策に挑戦する市町村バックアップ事業
・結婚、出産、子育て応援キャンペーン事業
・少子化分析市町村支援事業
・子どもが主役プロジェクト

4 施策達成レベル

2.5	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

「ももっこカード」は、アプリを活用して子育て支援情報の発信を行うほか、仕様の改善により利便性の向上を図り、協賛店も新たに60店舗増加した。
「市町村バックアップ事業」は、新たな少子化対策にチャレンジする市町村を対象に伴走型で人的及び財政的支援を2カ年1クールで行った。
「結婚、出産、子育て応援キャンペーン事業」は、子育てを応援する気運の醸成を図るため、こどもまんなかマナーアップ県民運動を実施した。
「少子化分析市町村支援事業」は、市町村における根拠に基づいた効果的な施策形成を支援することを目的に作成した少子化要因「見える化」ツールについて、市町村での効果的な活用を促すとともに、少子化対策事業の立案・実施への取組を支援するため、市町村担当者等を対象とした説明会を開催した。
「子どもが主役プロジェクト」は、子どもや若者が意見を表明する機会を増やすため、常設の「いつでも意見投稿フォーム」を設置した。

6 今後の施策推進に向けての課題

「ももっこカード」は、引き続き、様々な広報や利用促進につながる取組を実施し、アプリの認知度向上や協賛店の登録促進を図っていく。
「市町村バックアップ事業」は、各市町が予算化した事業実施への支援や国交付金の活用等の助言に努めていく。
「結婚、出産、子育て応援キャンペーン事業」は、県民運動を継続して実施し、さらなる気運の醸成につなげる。
「少子化分析市町村支援事業」は、ツールを活用して、県とともに施策形成を行う市町村に対し、その費用を助成するほか、効果的な施策の横展開を図ることで、県全体として少子化対策の底上げにつなげていく。
「子どもが主役プロジェクト」は、子どもを対象としたアンケート等を引き続き実施していくとともに、「いつでも意見投稿フォーム」の認知度向上を図っていく。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども未来課

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
戦略プログラム	妊娠・出産・子育て支援プログラム
施策名	【重点】地域ぐるみの子育て支援

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	合計特殊出生率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1.34	1.35	1.36	1.37
現況値	1.32	実績値	1.23			
目標値	1.37	達成率（%）	91.8			
備考		達成度	3			

指標名	出生数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	12,166	12,191	12,215	12,238
現況値	11,575人	実績値	10,426			
目標値	12,238人	達成率（%）	85.7			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

・地域子ども・子育て支援事業
・放課後児童支援員等研修事業
・子育て支援員研修事業
・地域の子育て応援事業

4 施策達成レベル

2.5	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

市町村子ども・子育て支援事業計画に基づき実施される放課後児童健全育成事業について、実施主体である市町村に対して、運営費や整備費に係る補助金を交付するとともに、適正かつ円滑に事業が実施されるよう必要な助言や援助を行った。また、放課後児童支援員の認定資格研修等を実施し、人材の育成や質の向上を図った。
（整備箇所数：31箇所、補助額：105,034千円）
（認定資格研修修了者数：398名、階層別研修修了者数：167名、合同研修受講者数：189名）
地域の子育て支援関係者と、子ども・保護者が一緒に楽しむことができるイベントを津山市と玉野市で開催した。

6 今後の施策推進に向けての課題

仕事と子育ての両立支援や児童の健全育成対策として、放課後児童クラブは重要な役割を担っている。核家族世帯や女性の就業率の上昇に伴いそのニーズが高まり、待機児童が年々増加しているため、さらなる受け皿の整備が必要である。また、運営を担う人材の確保も必要である。
地域の子育て応援事業については、イベントの実施により地域の子育て支援団体の活動周知及び地域の子育て支援団体間の相互理解・連携促進に一定の効果があった。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	健康推進課

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
戦略プログラム	妊娠・出産・子育て支援プログラム
施策名	【重点】切れ目のない母子保健等の強化

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	妊娠・出産について満足している母親の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	88.1	88.8	89.4	90.0
現況値	86.7%	実績値	87.3			
目標値	90.0%	達成率（%）	99.1			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・おかやま妊娠・出産サポートセンター事業
・産後ケア事業の体制強化事業
・風しん抗体検査助成事業
・遠方の産科医療機関等で受診する妊婦健診時にかかる交通費支援事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

・妊娠や出産等に関する相談について、おかやま妊娠・出産サポートセンターの周知を行い、利用促進に努めた。
・社会的ハイリスク妊産婦の早期支援のための「気になる母子支援連絡票」の見直しや、利用しやすい産後ケア事業等について、関係機関と協議するとともに研修会を開催し、支援体制の充実を図った。
・先天性風しん症候群予防のための風しん抗体検査事業において、693名の受検があった。
・妊婦健診時にかかる交通費支援事業は、該当する1市で活用された。

6 今後の施策推進に向けての課題

・おかやま妊娠・出産サポートセンターの利用者数が減少傾向にあるが、望まない妊娠や社会的ハイリスク妊産婦の課題は継続しているため、より一層周知を図る必要がある。
・産後ケアを必要とする人が利用し、それぞれのニーズに沿ったケアが受けられるようにするため、産後ケアの効果的、効率的実施を目的とした体制整備を図る必要がある。
・先天性風しん症候群に関する正しい知識や風しん抗体検査事業について積極的な周知を継続して行う必要がある。
・妊婦健診にかかる交通費支援の助成メニューが拡大されるため、新たに対象となる人に周知する必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	健康推進課

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
戦略プログラム	妊娠・出産・子育て支援プログラム
施策名	【重点】妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の充実

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	61.4	64.3	67.2	70.0
現況値	55.6%	実績値	62.8			
目標値	70.0%	達成率（%）	102.3			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・未来のパパ＆ママを育てる出前講座等事業
・おかやま妊娠・出産サポートセンター事業
・不妊専門相談センター事業
・不妊治療費助成事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

・出前講座等を通して中高生へ妊娠・出産等の正しい知識の普及啓発を実施し、若い世代が妊娠・出産を含めたプレコンセプションケアについての理解を深かめ、自身のライフプランを考えてもらう機会となった。
・妊娠・出産等に関する相談に応じるおかやま妊娠・出産サポートセンターの周知を行い、利用促進に努めた。
・不妊や不育治療を受けている人が増加する中、不妊治療費助成事業は1,000件を越える実績があった。
・不妊専門相談センターには専門性の高い相談が寄せられており、必要な方への支援を行った。

6 今後の施策推進に向けての課題

・出前講座については、できるだけ多くの中学・高校・大学等で活用されるよう、より一層周知を図る必要がある。
・おかやま妊娠・出産サポートセンター及び不妊専門相談センターは、必要な人が利用できるよう周知の工夫を図る必要がある。
・不妊治療を行う人は増加しており、不妊治療の助成については、より実態に沿った支援内容について検討していく必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども未来課

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
戦略プログラム	妊娠・出産・子育て支援プログラム
施策名	【推進】多子世帯への支援

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	出生数に占める第3子以降の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	19.1	19.3	19.5	19.7
現況値	18.7%	実績値	19.7			
目標値	19.7%	達成率（%）	103.1			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・第3子以降保育料無償化事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

3人以上の子どもを持ちたいと希望する世帯を応援するため、第3子以降の0～2歳児の保育料を無償化又は軽減する市町村に補助金を交付し、多子世帯の保護者の経済的負担を軽減した。
（補助対象児童数：2,708人　補助額337,648千円）

6 今後の施策推進に向けての課題

今後も市町村と連携して、幼児教育・保育の無償化と併せて制度の周知を図り、少子化対策につなげる必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども未来課

重点戦略	Ⅰ　結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
戦略プログラム	妊娠・出産・子育て支援プログラム
施策名	【推進】子育ての実感や安心感を得る場の提供

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	ももっこカードの新規協賛店数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	100	100	100	100
現況値	96店舗/年	実績値	60			
目標値	100店舗/年	達成率（%）	60.0			
備考		達成度	1			

3 関連する事業名

・ももっこカード利用促進事業
・「子育て家庭留学プログラム」事業

4 施策達成レベル

1.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

「ももっこカード」は、令和6年1月からアプリ版の運用を開始しており、年齢や地域を限定した通知やアンケート機能などを活用し、子育て支援に資する情報発信を行うとともに、利用者ニーズ等を踏まえた仕様の改善を行うことにより、利便性の向上を図り、協賛店も新たに60店舗増加した。
「子育て家庭留学」では、結婚や子育て、仕事との両立に関心や不安のある若い世代が、子育て家庭を訪問し、子どもとの触れ合いや先輩ママ・パパとの交流を通じて、将来設計のヒントを得る体験型事業を実施した。

6 今後の施策推進に向けての課題

「ももっこカード」は、引き続き、様々な広報や利用促進につながる取組を実施し、アプリの認知度向上や協賛店の登録促進を図っていく。
「子育て家庭留学」では、引き続き、こうした体験型事業により、若い世代の結婚や子育てに対する不安を解消し、前向きな意識醸成を図っていく。